

環境変化はビジネスチャンス アメリカ現地法人NSA社の果敢な挑戦!

米国関税の引き上げは、自動車産業を取り巻く環境に大きく影響を及ぼしています。

今号では、この逆風に果敢に挑んでいる当社グループの米国子会社、

NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION(以下、NSA社)の取り組みをご紹介します。

NSA社は、アメリカ政府による追加関税の発動を受け、さらなる取り組みを強化しています。2025年5月3日、トランプ政権は輸入されるエンジンやトランスミッションなどの主要な自動車部品に対して、25%の追加関税を課す措置を発表しました。この政策はアメリカ国内の自動車メーカーにも影響を及ぼし、製造コストの上昇が懸念されています。

しかしピンチはチャンスでもあります。NSA社ではこのような環境のもと、日東精工グループの製品がいかにもすぐれているかを広くアピールし、アメリカ市場での競争力を維持・強化する絶好の機会でもあるととらえ、積極的に展示会や商談に参加しています。4月16日から17日までテネシーで開催された「The ASSEMBLY Show South」、5月12日から16日までデトロイトで開催された「Automate 2025」と2か月連続で展示会に出展。

①推力可変機能付きYθ型ねじ締めロボット「SR580Y θ-Z」、②多軸自動ねじ締め機「FM5000」、③単軸自動ねじ締め機「FM513VZ」、④ハンディ自動ねじ締め機「FM503H」などを展示し、各種デモンストレーションを通じて、日東精工のねじ締め機やねじ締めロボットの優位性をアピールしました。

そしてこれらの展示会で接触したユーザーに対しフォローアップを進め、とくに部品メーカーとの連携を深め、さらなる生産コスト上昇による自動化推進ニーズに応じた各種ねじ締め機の提供を通じて、顧客の期待に応えることが重要と考えていま

す。当社の長期経営ビジョンは、“世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す”ことです。NSA社の取り組みは、その一環として、米国市場における持続可能な成長を実現するための重要なステップです。その他の現地法人の奮闘情報についても今後このニュースレターでご紹介してまいります。

●「The ASSEMBLY Show South」

出展社数：205社 来場者数：約20,000人

南部地域の自動車関連ユーザーが多数来場。

NSA社にとって非常にPR効果の高い展示会



●「Automate 2025」

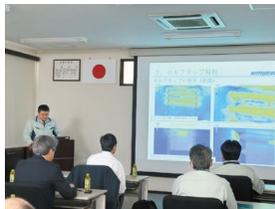
出展社数：約800社 来場者数：約50,000人

自動車分野だけでなく、電機・電子分野からの来場者も多く、アメリカ全土やカナダ・メキシコからの新規ユーザー獲得が期待される。本展ではNSA社が製品情報掲載中の技術者のためのサイト「GlobalSpec」から、カメラクルーの取材が入り、その動画は以下QRコードからご覧いただけます。



東京大学と共同で タッピンねじのFEM解析

タッピンねじとは、めねじ加工が施されていない相手材の穴（下穴）に、ねじ自身のねじ山でめねじを塑性成形させながら、ねじ込み締結できるねじのことです。相手材にめねじを塑性成形させながらねじ込むことをセルフタッピンといい、めねじ加工・インサートナットなどが不要なことから締結コストを下げる、作業効率を上げるなどの目的で利用されています。当社では東京大学の泉聡志教授ならびに泉研究室とタッピンねじのFEM（有限要素法）解析を行っており、今般、共同研究成果報告会を開催しました。当社では他社に先駆けてセルフタッピンのFEMに取り組んでおり、この解析による評価を用いて、当社ゆるみ止めねじの信頼性向上に寄与してまいります。



3月21日 当社本社会議室にて「共同研究成果報告会」を開催

※有限要素法（Finite Element Method, FEM）は、複雑な形状や構造をもつ物体の物理的挙動を数値的に解析するための手法。大きな問題を小さな、より扱いやすい部分（有限要素）に分割し、それぞれの部分で物理法則に基づく方程式を解くことにより全体の挙動を予測するもの

海外全工場が「IATF16949」認証取得し グローバルな品質体制を確立

当社の連結子会社であるMALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD.（以下、MPM社）が、本年3月14日に自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格「IATF 16949」の認証を取得しました。今回のMPM社の認証取得により、当社および海外連結子会社（製造）7ヶ国（日本・マレーシア・タイ・インドネシア・中国・台湾・インド）計8拠点での「IATF16949」認証の取得が完了しました。

日東精工グループは「日本発、世界が認めるファスナーメーカー」として グローバルな品質体制を確立。世界の自動車部品メーカーに安全で安心な工業用ファスナー（ねじ）製品を提供し、また、顧客および社会に認められ、求められる企業としての成長を図ってまいります。

※「IATF16949」は、自動車産業において製品・サービスの不具合を予防し、ばらつき・ムダを低減させるための国際的な品質マネジメントシステム規格



NITTOSEIKO'S SDGs (サステナビリティ経営推進)

特例子会社日東精工SWIMMYが 生物多様性のための「30by30アライアンス」に参加

当社の特例子会社（障がい者雇用を推進するための会社）である日東精工SWIMMY株は、環境省が進めている生物多様性のための「30by30（サーティ・バイ・サーティ）アライアンス」に参加登録しました。「30by30」とは、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

具体的な取り組みとしては、日東精工周辺を「花のまち」にしていくことと、数年前に当社環境技術課でインターンシップとして受け入れた学生さんと一緒に専門家の指導のもとつくられたビオトープを維持管理していくことです。これらの取り組みが少しでも多くの生物に利用され、移動する生きものたちの中継地として役立つ生態系ネットワークが形成されればと思います。将来的には小学生の学びの場を提供できるような事業

になればと思います。また「美化作業」、「除草作業」ではなく、「30by30」に直接貢献するという大きな目的を掲げて自然共生事業として取り組んでいくことで、日東精工SWIMMY従業員のやりがい、責任感、達成感にもつながることを願います。

（日東精工SWIMMY代表取締役社長 檀野佳子）

※ビオトープ 都市化や産業活動によって生物がすみにくくなった場所において、周辺地域から区画して動植物の生息環境を人為的に再構成した環境



横浜で開催された「人とくるまのテクノロジー」展に出展

「人とくるまのテクノロジー展2025YOKOHAMA」が横浜みなとみらいの「パシフィコ横浜」で開催され当社も出展いたしました。ファスナー、産機、制御システム、それぞれの事業本部の技術力の高さ、製品の優位性はもちろんのこと、関連子会社を含めた日東精工グループの総合力・潜在力を自動車業界の方々に強くアピールいたしました。自動車業界はAIやビッグデータの活用といったデジタル技術革新DXにより、自動運転やテレマティクスを活用したサービスなどが進んでいますが、日東精工グループの製品群はこれらに大きく貢献できるものだとして自負し、こういった展示会を通じてこれまでのお客様との関係を深耕し、また新規顧客獲得につなげていきたいと考えています。



TBSの報道番組「Nスタ」が当社ブースを取材。
ファスナー事業本部販売部長の片山直人が対応しました

CEO COO、トップが 当社の魅力を語りました

当社代表取締役会長兼CEO材木正己は4月14日、京都京都信用金庫の役員、支店長を対象に講演（マネジメント研修）を行いました。材木は2021年から同信用金庫の社外監事を務めています。今般、管理職として必要な考え方や部下育成、戦略的思考などについて、当社事例を交えながら具体的な行動・習慣まで落とし込んで解説させていただきました。



上は京都京都信用金庫で講演する材木正己。下は日東精工グループ新入社員研修での代表取締役社長荒賀誠

また代表取締役社長兼COO荒賀誠も5月7日にα-STATION エフエム京都『ONE FINE DAY』にラジオ生出演をし、日東精工グループの事業や地域貢献などをお話しています。企業理念や事業方針などについては従業員への徹底はいうまでもありませんが、当社ではトップをはじめ社員それぞれ皆が誇りをもって日東精工の魅力を伝えてまいります。

INVENTION 発 明 表 彰

ウォームギヤで「京都府発明等功労者表彰」を受賞 常に先を見据えた技術開発を行っています

メーカーにとって技術開発力は欠かせぬものです。もちろん当社でも、今だけではなく、常に時代の先を見据えて研究開発を進めています。当社の技術開発の歩みをまとめた小冊子の裏表紙には「技術で勝ち続ける日東精工」〈社員のクオリティが高い日東精工〉〈豊かな感性から独創的な発想が溢れる日東精工〉〈取り組んだら成果が出るまであきらめない日東精工〉〈コストダウンを美学と考えている日東精工〉〈お客様からも礼を言われることが多い日東精工〉といった言葉が並んでいて、私どもはこのフレーズの実践を日々心がけています。

☆

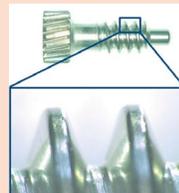
令和7年4月15日に「京都府発明等功労者表彰式」が開催され、当社からはファスナー事業本部特品課特品R係長の堀田真司が入賞を果たしています。

近年、自動車業界を中心に電動化が進み、ギヤ（歯車）部品の大量生産を求められるようになってきました。従来のギヤ部品は、一般的に切削加工や研削加工で仕上げられるため材料屑の発生による材料の損失が生じ、かつ多くの加工時間を要していました。当社では切削加工を用いないギヤ部品の開発に取り組

み、これまで当社で培われた工業用ファスナー（ねじ）の製造技術を活かした、冷間圧造・転造加工によるギヤ部品の開発に成功しています。

今般の表彰は、自動車のドアミラーのギヤボックスに使用されるねじ形状の部品（ウォームギヤ）に関する発明が評価されたもの。ウォームギヤの材料を所定の向きにセットし加工機に搬送させることでねじ山が一定の位置から立ち上がることを考案。このことによりギヤボックスの組み立てがより簡易に効率的になるものです。

また上記表彰式と併せて、同会場では科学技術分野の文部科学大臣表彰伝達式（京都府）も開催され、こちらでは日東精工協力会社の(株)SHOWAからも入賞者が出ています。



【誠の言霊 26】

吾唯知足

代表取締役社長
荒賀誠

〈世界一貧しい大統領〉といわれ、世界中から愛されたウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさんが5月13日に亡くなられました。

ムヒカさんは〈世界一貧しい大統領〉といわれることに対し、「たくさんもっているのに、あれもこれもと欲しがる他国の指導者のほうが貧しい」と反論。「貧乏とは少ししかもっていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないこと」と言い、大統領時代には給料のほとんどを貧しい人への寄付にあてていたのです。日本には古くから「吾唯知足」という言葉がありますが、まさにこれを体現した方でした。そして、ムヒカさんがいちばん大事にしたのは「幸せになる」こと。

そのためには自分の人生をただ漫然と生きるのではなく、自分の意志で積極的に操縦することの大切さを説かれていました。質素とは貧乏ともケチとも違います。現状に甘んじこれでもいいやと投げやりになったり、自分を卑下したりするものでもありません。夢や希望、志は大きくもつ、そしてそのためにしっかりと自分の足をかためること。今あることやモノ、ひとつ一つに満足し感謝し進めていくということにほかなりません。当社の社内人財教育テキストにもじつは20年以上前から「吾唯知足」を紹介しています。これからもしっかり地に足をつけ、誠実に己のためではなく、社会のために精進していければと思っています。

「幸せ」を見つけるヒント 6月

他所にはない素敵なバラ園

6月30日まで綾部バラ園で春のバラまつりが開催中です。このバラ園は小さいながらも他所にはない自慢できることがたくさんあります。

アンネフランクのバラという種類、このバラは平和を祈願して全世界に広がっているバラですが、日本ではここ綾部がルーツであり、たくさんのアンネフランクのバラが咲き誇っていること。そしてバラの世話など維持管理は市民ボランティアの手で行われ入園料が無料であること。また市民の方でも観光客でも誰もが協賛者になれ、一口3000円で植栽され

ているバラ1本選んでネームプレート（メッセージ）がつけられることなどです。今年は綾部市市制施行75周年、綾部商工会議所創立75周年、そして綾部バラ園開園15年を記念してイベントも充実。

笑顔の花で満ち溢れるバラ園、ぜひ足を運びください。



日東精工代表取締役会長 綾部商工会議所会頭 材木正己

